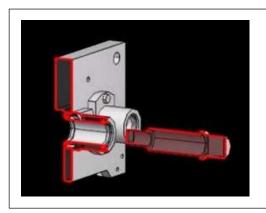


テーマ:デジタルマニュアル活用②

2022年07月01日

## 【概要】

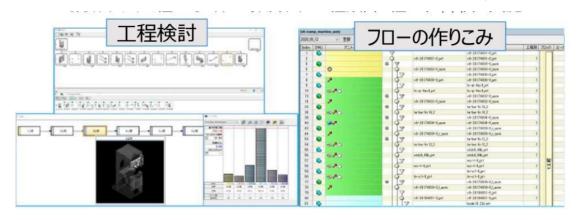


## 【内容】

- ・製造の組立工程を 3D 手順書で見える化と最適化を実現(工程表作成、部品表作成)
- ・3 D保全要領で海外のサービス現地化を支援【効果】
- ・開発設計段階で組立工程の作業性検証と容易化で試作&改善を 繰り返すことなく、組立時間を決定できる
- ・問合せの多いアフターサービスの現地完結化が可能になる

## 組立工程の見える化、最適化できる 3D 組立手順書

- ・生産準備のフロントローディングに活用:開発段階で組立の工程設計し、3 Dデータを活用したアニメーションで組立性評価、開発段階で作業性改善し、正確な組立工数算出できる。
- ・製造部門はこの工程をもとに、組立工具など事前準備が可能となり初期段階で企画原価を早期に達成できる。



・製造部門で生産準備にアニメーション動画や帳票(部品ラベル・部品表・現品票・紙手順書)を活用



・アフターサービスの要領書として活用:納入後の保全要領書として、事前に工具や作業注意点を把握でき、経験を 積んだサービスマンであれば、初めての設備でもサービスが可能になります。

会社名 豊ハイテック株式会社 担当者 永田・金森 連絡先 https://www.yutaka-ht.co.jp/



発行日: 2022/07/01 一般社団法人 Engineering Bridge P 1 / 1